

【川崎市市制 100 周年記念事業】

市制 100 周年を彩った広報物をアップサイクル！ アップサイクルアイデアを募集 川崎市内こども文化センターでガーランド作り体験も

2024 年から 2025 年にかけて、市内主要駅を中心に掲出していた、市制 100 周年を彩った横断幕等の広報物をアップサイクルするプロジェクトを実施します。

広報物の生地を活用して商品を製作したい、イベントを実施したい、といったアイデアを広く募集し、無償で生地を配布します。また、これからの 100 年を担う子どもたちに、気軽に「持続可能な社会」を体験してもらう取り組みとして、広報物の生地を活用したオーナメントでのオリジナルガーランド作りを実施します。

この取り組みを通じて、市民の皆さんの SDGs への意識や興味の醸成、子どもたちの創作意欲の向上を図ります。

1 アップサイクルアイデア募集 & 生地の無償配布

横断幕などで使用したターポリン生地を使って、商品の開発や販売、イベントの実施などを企画・実施する企業・団体などを募集します。

生地は応募者に無償で配布し、自由に使っていただけます。もちろん、作った商品を販売・配布したり、自由に切り取って遊んでもらったりしても OK。川崎市が推進する持続可能な社会を、皆さんといっしょに目指していきます。

実施概要

- (1) 募集期間 令和 7 年 2 月 25 日（火）～3 月 16 日（日）
(2) 募集方法 専用フォームにて申込

<https://logoform.jp/f/YVnLp>

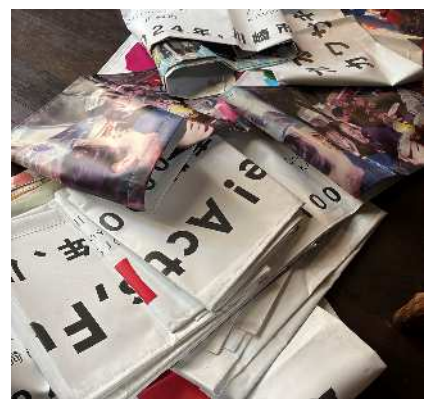


- (3) 生地の詳細 駅などで掲出した市制 100 周年広報物
※ターポリン生地：ポリエステルなどの布や織物に合成樹脂を塗布した生地で、耐久性に優れる。
アップサイクルでバッグなども作成されることがある。

(3) その他

- 応募の人数や内容により、応募者に分配する生地の分量を決定します。
- 生地自体の販売や配布、「アップサイクル」に適さない利用は対象外です。
- アップサイクルを実施した様子などを市に報告いただき、市はその内容を SNS 等で公開します。
- 生地は川崎市役所で引渡し、運搬や洗浄等は応募者が行うこととします。

役目を終えた懸垂幕などの市制 100 周年広報物を活用します ▶



2 こども文化センター アップサイクルでガーランド作り

川崎市内で革製品の製作・販売を行う「PRODUCT BASE SKLO（株式会社^{スクロー}SKLO）※」と連携し、ターポリン生地（ポリエステルなどの布や織物に合成樹脂を塗布した生地で、耐久性に優れる）の広報物で星やハートなどの様々な形に切り抜いた「オーナメント」を作り、市内全 58 か所のこども文化センターに配布します。こども文化センターでは、来館する子どもたちで自由に遊んだり、イベントを企画したりして活用します。

実施概要

- (1) 時期 令和 7 年 3 月 1 日（土）以降、随時各施設で実施（実施時期・内容は施設により異なります）
- (2) 場所 市内 58 か所のこども文化センター
- (3) 数量 各施設オーナメント 100 個（飾りつけに必要な紐やリボンも配布）



ターポリン生地を型抜き



広報物を切り抜いたオーナメント



ガーランドのイメージ

※PRODUCT BASE SKLO（株式会社^{スクロー}SKLO）

川崎市高津区で皮革製品の企画・製造・販売を行う。地域で開催されるイベントでは工場見学や機械操作体験などのほか、端材の革を使用した製作体験を実施するなど、地域貢献活動を通じてものづくりの魅力を発信している。

川崎市は市制 100 周年

次の 100 年に向けて「あたらしい川崎」を生み出していくためのスタートラインとして、

オール川崎市で、多彩な記念事業「Colors, Future! Actions」を展開しています。

▶川崎市市制 100 周年記念事業公式ウェブサイト <https://kawasakicity100.jp/>

「全国都市緑化かわさきフェア」

次の 100 年に向けて、みどりについて皆さんと一緒に考え行動することで、

誰もが暮らしやすく住み続けたいまちへとつなげていくため、開催します。

▶全国都市緑化かわさきフェア公式サイト <https://green-for-all-kawasaki2024.jp>

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



問合せ先

川崎市総務企画局シティプロモーション推進室

市制 100 周年記念事業推進担当 金井

電話 044-200-1215